

ジャニスの企画魂 Vol.11

トリップミュージック“ダブ”の進化を辿る旅



King Tubby & Scientist
[Ranking Dread in Dub]



Upsetters
[14 Dub Blackboard Jungle]



Augustus Pablo
[King Tubbys Meets Rockers Uptown]



V.A.
[Wackies Sampler Vol. 1]



Horace Andy
[Dance Hall Style]



Basic Channel
[BCD]

店員A：神田神保町のCDレンタルショップJANISが、この店ならではのCDを紹介するこのコーナーですが、今回のテーマは“ダブ”です！

店員B：今は一口にダブと言っても、いろんな音楽に影響を及ぼしていると言えますね。

店員A：では、まずダブの創始者キング・タビーの伝説の名盤から紹介したいと思います。これまで数々のディスクガイドで紹介されてきたんですが、このCDが再発されるまでなかなか手に入れることができなかった音源です！

店員B：A面はSly & Robbieによるトラックをタビーがミックスしていて、B面はRoots Radicalsによるトラックをタビーの弟子とも言えるScientistがミックスしている、ダブ対決盤という代物ですね。タビー側が陽性だとしたら、Scientist側は陰性といった感じ。どっちもパイイことには変わりないんですが。

店員A：そして、同じくダブの巨頭であり、タビーのワークショップにいたのがリー・スクラッチ・ベリーです。

店員B：まあリー・ベリーは「タビーは俺の生徒だ」と言ってますがね(笑)。この人が作り出す音は宇宙にトバされるほどの威力がありますが、発言も宇宙人みたいな人です。そして何より70歳を超える今でも現役で活動しているってのが凄いですね。

店員A：「Blackboard Jungle Dub」というアルバムはリー・ベリーのバンドUpsettersによる作品で、彼の初期の名盤です。そのコンプリート版としてリリースされたのが「14 Dub Blackboard Jungle」。

店員B：「Blackboard Jungle Dub」は73年にたった300枚しかプレスされなかったんだけど、その100枚がロンドンに持ち込まれたそうです。ダブという音楽が産声をあげた頃の重要な作品であり、世界的に広まったと言えますね。

店員A：では、もう1人のダブの偉人としてオーガスタ・パブロを紹介しておきましょう。実はジャニスでは人気のある人で、タビーやリー・ベリーがぶっ飛んでるとしたら、パブロは哀愁のあるサウンドですね。

店員B：ジャケを見てもわかりますが彼によってメロディカという楽器が認知されたと言えます。

店員A：彼ら偉人/異人の強烈な個性によってダブが世界に広がるわけですが、ここで忘れちゃいけないのがNYのダブ/レゲエレーベルWackie'sです。

店員B：Wackie'sの主宰者のBullwackieはジャマイカの人で、67年にNYに渡ってサウンドシステムを始めた人。こだま和文さんともセッションしたりしております。

店員A：Wackie'sのサンプラーを聴けば、このレーベルの洗練度とディープ具合がよくわかるはず。入門欄にもピッタリ。

店員B：あとWackie's代表アーティストにはホレス・アンディがいますね。彼はジャマイカの超名門スタジオ・ワンで活動していたわけですが、活動拠点をNYに移してディープな作品を発表していく。「Dance Hall Style」はWackie'sの最盛期の作品であり、Massive Attackもカバーしています。ところで、このWackie'sの復刻ってBasic Channelがサポートしているんですよね？

店員A：そうです。Basic Channelはミニマルテク

ノの発明者とも言われてるんですが、95年にリリースされた「BCD」という編集盤を聴くと、ミニマルテクノだけでなく音響やエレクトロニカといった幅広さがある、そこにダブというアプローチが影響を与えていることがわかります。JANISではダブの類ではなくてテクノの類に置いてるんですけどね。

店員B：ダブの影響をダイレクトに受けたと言えば当時のパンクバンドたちがいます。そのなかでも初期Public Image Ltdに在籍していたジャー・ウォブルは今、再評価されていますよね。

店員A：JANISでも人気の高い人です。この3枚組のアンソロジーにはファラオ・サンダース、ブライアン・イーノ、ホルガー・シューカイと共同制作した楽曲も収録されていて、彼の仕事を網羅したものと「Wild Dub - Dread Meets Punk Rocker」というコンビはその名の通りThe Clash、Generation XやPop-group、The Slitsなどパンク/ポストパンクのダブサウンドをまとめたもの。これを聴けば、いかにダブが彼らに大きなインパクトを与えたかがわかるはず。店員B：そうっすね。特にイギリスではレベルミュージックとしてパンクとレゲエ/ダブが密接に結びついた。

店員A：その立役者として今も存在感を放っているのはエイドリアン・シャーウッドでしょうね。彼のレーベルON-Uがダブをジャンルレスなものへと発展させた！

店員B：あとロブ・スミスも！プリストルサウンドを世界に広めた立役者です。

店員A：ロブ・スミスによるSmith & Mightyの「Big World Small World」は名盤ですね。プリストルは常にクラブサウンドを進化させていますが、その根底には独自に発展させたダブというものが存在していると思います。

店員B：しかし、プリストルに行くとダブも一気にどんよりとしたサウンドになりますね。

店員A：誰かの名言で「ダブはその土地柄が反映される」というのがあります。Twilight Circus Dub Sound Systemはオランダのダブユニットですが非常にモクモクしておりスモーキーです(笑)。

店員B：そういう意味では日本のダブというのも、お国柄が反映されているんですかね？

店員A：どうなんですかねえ。昨年リリースされた「RENEGADES OF DUB」は今の日本のダブサウンドを集めたコンピで、Flying Rhythms、Rebel Familia、ALTZ、Gomaといったアーティストの曲が収録されています。このコンピを聴くとそれぞれ非常にオリジナルなものを持っていると思うんですよ。

店員B：日本ってホントに面白いセンスを持ったアーティストがいるんだってことが分かると思いますね。どこかファニーな視点があったり、意表を衝くような仕掛けがあったり、日本独自の雑食感があるような気もする。このメンツって今のクラブシーンでも先端にいると思うんだけど、それがダブで活かせることができるというのが面白いですね。そう考えると、ダブってやっぱり最強のトリップミュージックなんだってことを改めて思いますね。

店員A：そうです。Basic Channelはミニマルテク

店員B：まあリー・ベリーは「タビーは俺の生徒だ」と言ってますがね(笑)。この人が作り出す音は宇宙にトバされるほどの威力がありますが、発言も宇宙人みたいな人です。そして何より70歳を超える今でも現役で活動しているってのが凄いですね。

店員A：「Blackboard Jungle Dub」というアルバムはリー・ベリーのバンドUpsettersによる作品で、彼の初期の名盤です。そのコンプリート版としてリリースされたのが「14 Dub Blackboard Jungle」。

店員B：「Blackboard Jungle Dub」は73年にたった300枚しかプレスされなかったんだけど、その100枚がロンドンに持ち込まれたそうです。ダブという音楽が産声をあげた頃の重要な作品であり、世界的に広まったと言えますね。

店員A：では、もう1人のダブの偉人としてオーガスタ・パブロを紹介しておきましょう。実はジャニスでは人気のある人で、タビーやリー・ベリーがぶっ飛んでるとしたら、パブロは哀愁のあるサウンドですね。

店員B：ジャケを見てもわかりますが彼によってメロディカという楽器が認知されたと言えます。

店員A：彼ら偉人/異人の強烈な個性によってダブが世界に広がるわけですが、ここで忘れちゃいけないのがNYのダブ/レゲエレーベルWackie'sです。

店員B：Wackie'sの主宰者のBullwackieはジャマイカの人で、67年にNYに渡ってサウンドシステムを始めた人。こだま和文さんともセッションしたりしております。

店員A：Wackie'sのサンプラーを聴けば、このレーベルの洗練度とディープ具合がよくわかるはず。入門欄にもピッタリ。

店員B：あとWackie's代表アーティストにはホレス・アンディがいますね。彼はジャマイカの超名門スタジオ・ワンで活動していたわけですが、活動拠点をNYに移してディープな作品を発表していく。「Dance Hall Style」はWackie'sの最盛期の作品であり、Massive Attackもカバーしています。ところで、このWackie'sの復刻ってBasic Channelがサポートしているんですよね？

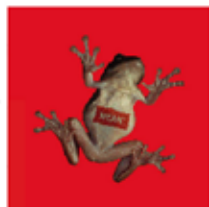
店員A：そうです。Basic Channelはミニマルテク



Jah Wobble
[I Could Have Been A Contender]



V.A.
[Wild Dub - Dread Meets Punk Rocker]



Adrian Sherwood
[Never Trust A Hippie]



Smith & Mighty
[Big World Small World]



Twilight Circus Dub Sound System
[Dub Voyage]



V.A.
[RENEGADES OF DUB]

ここで紹介したCDが全てJANIS本店で借りられます！



JANIS SPACE 企画持ち込み募集中!!

JANIS1号店の下にオープンしたJANIS SPACE。即興ライブ、アコースティックライブ、映像×DJイベント、お笑い×音楽イベントなどイベントスペースとして活用されています。このJANISのフリースタイルスペースで「何かやってみたい人」を募集しています。詳細はJANIS WEB SITEをCHECKしてください!!

CD RENTAL SHOP JANIS

千代田区神田小川町3-6-9
神田第2アメリックスビル9F
TEL: 03-3291-9578
http://www.janis-cd.com/

